



青森総合卸センターニュース

編集・発行 協同組合青森総合卸センター 〒030-0131 青森市問屋町2丁目17-3 ☎017-738-4711 FAX017-738-7323
URL https://www.tonyamachi.com E-mail info@tonyamachi.com 発行/2021年7月30日

色とりどりの花が問屋町を明るく彩る

問屋町花いっぱいプロジェクト

組合では街並・景観整備の一環として「問屋町花いっぱいプロジェクト」を展開し、花を活用した様々な取り組みで団地内の景観美化向上を図っている。

今年も問屋町大通りの歩道に、問屋町・第二問屋町合わせて100基のフラワーボックスを設置。オリジナルデザイン

の花等が植栽されたプランターが組合員の敷地内に設置され、華やいだ雰囲気となった。

今年も問屋町大通りの歩道に、問屋町・第二問屋町合わせて100基のフラワーボックスを設置。オリジナルデザイン

へのフラワーボックスの無料配付とリメイク作業も行われた。ピンク色のペチュニアの

6月17日(木)には花の植え方教室を開催し、組合員従業員16名が参加した。同教室の開催は今年で4回目を迎え、問屋町の景観整備アドバイザーである鈴木野波氏が講師を務めた。フラワーボックスのデザイン・作成も担当する鈴木氏の指導のもと、プランターに植える花苗のバランスや用土の量、寄せ植え後の管理方法などを実際に作業しながら学んだ。

6月20日(日)には問屋町緑のボランティア隊による花苗植栽も実施された。当日は隊員30名により、問屋町東口及び第二問屋町北口緑地にマリーゴールドやペコニア等の花苗を植栽。今年ではデザイン性を重視して第二問屋町北口ではハートのマーク等に花苗を配置し、道行く人の目を楽しませている。

その他、青森市中央卸売市場前歩道や問屋町東口に植栽されたラベンダーも順調に生育し、美しい景観を形成。春には中央分離帯に植栽された芝桜もきれいな花を咲かせて

いた。「問屋町花いっぱいプロジェクト」の推進により団地内の景観は着実に向上し、組合員の景観への意識も年々高まっており、引き続き組合員と一体となった景観形成に取り組んでいく。



水やりする組合員



問屋町大通りフラワーボックス



緑のボランティア隊



組合員の敷地内に設置されたフラワーボックス



ファイナンシャル・サポートの花壇

とんやまち フラワー・スナップ

今号から新企画として「とんやまちフラワー・スナップ」と題し、組合員の花壇を紹介する。

記念すべき1回目に紹介するのは、第二問屋町の(有)ファイナンシャル・サポート。同社の花の管理は大坂社長が自ら担当。問屋町加入当初の2



市場前歩道ラベンダー

012年から毎年、会社の入口に花を寄せ植えしたプランターを置き始め、10年目を迎える。今年も、ペチュニア等の花苗に加え、枝豆やトマトなどの野菜も植栽している。大坂社長は「花を見ていると気分が上がる。会社がずっと限り続けたい」と笑顔で語った。

問屋町は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています

問屋町は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています

問屋町内防犯カメラの 取替についてなど承認 第2回理事会

6月28日(月)に第2回理事会が開かれ、審議の結果、全て原案どおり承認された。

また事務局からは、新型コロナウイルスワクチン職域接種の進捗状況やリサイクル回収収益金の寄付、北日本流通ヴァン(株)の2020年度決算などについて報告した。

主な案件審議は次のとおり。

案件一、労務対策委員会からの意見について

今年で3回目となる問屋町100日ウォーキングの開催などについて承認された。

案件二、環境対策委員会からの意見について
防災訓練の開催や案内看板の改修、防犯カメラの取替について承認された。

案件三、組合員施設の賃貸について

案件四、組合員跡地買取資金の借換について

案件五、2021年度の役員報酬について

案件六、2021年度第3回理事会の日程等について

春季合同企業セミナーを開催 青森県流通団地連絡協議会

県内の5つの卸団地で組織する青森県流通団地連絡協議会の春季第2弾となる合同企業セミナーが、6月17日(木)と23日(水)の2日間、青森公立大学で開催された。今回は、各卸団地の組合員企業13社が参加した。

17日は、これまで同様、組合員企業が大学の教室にブースを設け、学生が訪れて説明を聞く対面型の説明会を開催。23日には、同協議会では初の試みとなるオンラインによる説明会が行われた。オンライン説明会は大学の教室と



合同企業セミナー

各企業とZoomを使用し、中継。コロナ禍のため、会社の方針で対面型の説明会に参加できない組合員企業にとっては、学生と接点を持つ貴重な機会となった。



オンラインで説明会

セミナーに参加した学生は、「今まで関心を持っていなかった業界や企業の話も聞けて、視野を広げることができた」と感想を述べ、理解を深めていた。

無料相談コーナーの メニュー追加

組合で実施している「専門家による無料相談コーナー」に新たなメニューが追加された。これまでの弁護士、社会保険労務士、司法書士に加え、造園デザイナーの鈴木野波氏と保健師の千葉敦子氏がラインナップに加わった。

組合の景観アドバイザーも務める鈴木氏は、花苗の植栽

屋町配送(株)の第41回定時株主総会が開かれ、提出案件が全て原案どおり承認された。

の仕方や管理方法、花壇の作り方等の相談に応じる。青森県立保健大学准教授で青森産業保健総合支援センター相談員でもある千葉氏は、保健指導や健康教育、メンタルヘルス、治療と仕事の両立等の相談を受け持つ。

同サービスでは相談日は特定せず、組合員からの依頼があった都度、専門家と相談のうえ日程を調整して開催。1社月1回、相談時間は30分程度までであれば相談費用は無料。ただし、別途依頼した個別指導や登記手続などの事務代行手続は有料となる。

問屋町会館前で献血

6月29日(火)に問屋町会館前にて今年度1回目の献血が実施された。コロナ対策を講じ、移動献血バスで行われた献血に、組合員従業員ら24名が協力した。

現在、新型コロナウイルスの影響で、全国的に献血バス等による集団献血の中止が相次いでいる。献血協力者の深刻な減少が続く、医療機関で病気の治療等に不可欠な血液製剤の安定供給に支障をきたすことが大いに懸念されている。

組合では1970年から50年以上、献血推進活動に取り組んでおり、献血バスの来訪



コロナ対策を講じて献血

日を決め、場所を提供し、組合員らに案内している。今後、献血推進に向けて積極的な広報活動等を行っていく。

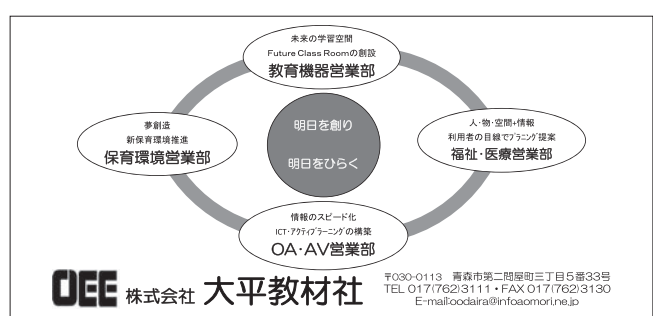


保健師
千葉 敦子氏



造園デザイナー
鈴木 野波氏

同コーナーに関するお申し込みやお問い合わせは、卸センター事務局(☎738-4711 担当:成田)まで。



海産乾物問屋
昆布を食べよう

株式会社 丸毛最上商店

青森市問屋町二丁目14番22号
TEL 017-738-5891
FAX 017-738-5895
http://www.mogami.biz

アメリカシロヒトリ 大量発生



アメリカシロヒトリの毛虫の巣網

6月下旬から、問屋町内で

アメリカシロヒトリ(蛾)の幼虫が大量発生している。同虫に毒はないが、植物を食い荒らし、毛虫が拡散すると駆除に大変苦慮する。6月から7月、9月にも多く見られるようになる。幼虫(毛虫)の巣網の段階であれば容易に対処できるため、定期的に街路樹や自社敷地内の樹木等の確認をお願いする。

業務報告

…主要事項…

- 6月 1日▽青森県立保健大学問屋町健康調査実習②
- 3日▽組合員昼食会

- 8日▽第1回集団健康診断(10日)
- 9日▽第1回労務対策委員会
- 10日▽第3回問屋町合同清掃
- ▽問屋町支店長・所長連絡会第1回幹事会
- 15日▽金融審査会
- 17日▽青森問屋町経営同友会第2回役員会
- ▽県流通団地連絡協議会合同企業セミナー
- 20日▽花の植え方教室
- 22日▽第1回問屋町緑のボランティア隊
- 23日▽問屋町地区健康診断
- 23日▽第1回環境対策委員会
- 合同企業オンラインセミナー
- 28日▽第2回理事会
- ▽青森問屋町配送(株)第41回定時株主総会・第2回取締役会
- 29日▽第1回献血
- …問屋町…
- ◆ビジネススクール…
- 3日▽労働時間管理実務vol.1
- 8日▽リーダーシップ能力向上研修(9日)
- 10日▽新入社員研修フォローアップ講座
- 15日▽顧客満足度を向上させる自分磨きセミナーvol.2
- 17日▽労働時間管理実務vol.2
- 24日▽好感をもたれる話し方

経済雑感

第二七回

青森県中小企業団体中央会
副会長・専務理事 田中 泰宏

前号に引き続き、青森県中小企業団体中央会の田中副会長による経済雑感をお送りする。

【新型コロナウィルスと人間活動】

前回見たように、一般的には、新型コロナウィルスの問題は人間活動に大きなマイナスの影響を与えています。しかし、視点を変えると、経済活動についても、いわゆる巣ごもり需要により、家電の売り上げが伸びたり、ネット通販が活況を呈していたりと一部業界にとってはプラス面の影

響も出ています。更には、全世界で経済活動が低迷した結果、温室効果ガスの排出が減り、環境悪化に歯止めがかかった部分もあるようです。実際に大気汚染が進んでいた中国で温室効果が、特にCO₂の排出がかなり低減したという推計もあるとのこと。



青森県中小企業団体中央会
副会長・専務理事 田中 泰宏 氏

また、身の周りでも、いろいろなこと、以前に比べてシンプルになりました。以降は例示です。①会議とセツトの懇親会がなくなったこと

②県外出張がなくなったこと
③葬儀で家族葬や直葬など簡素な方式が増えたこと
これらがプラスなのかマイ

ナスなのかは、人によって異なると思いますが、個人的にはプラスの面が大きいように感じます(県外出張がないのは物足りないですが)。
【コロナ終息後への備え】
とはいうものの、このコロナ禍は、いつかは分かりませんが、いずれ終息するはずで、その際に、我々はどう対応すべきなのかは慎重に考える必要があり、思

います。すべてが元通りになると期待することは禁物ではないかということです。
先ほどの例でも、コロナ禍が収まったとしても、一定の合理性がある場合は、シンプルのまま継続して元には戻ら

かたり、戻るにしても長い時間を要するのではないかと思います。出張はわざわざ出向くことが必要なのか見極めが必要になるかもしれないし、逆に旅行は鬱憤を晴らすかのように爆発的に再開されるかもしれません。葬儀は益々少人数や簡素な方式が増えるかもしれません。したがって、我々の生活も仕事も、このようなことを念頭に置いてある程度慎重な姿勢で備えるべきではないかと思えます。

ウィルスは「自己複製」ができる点で生物ではないとのことですが、それによつて人類が右往左往するのは、何かの警告なのかも思えますが、人類はもっと謙虚になるべきなのかもしれません。

(完)

暮らしと住まいの総合商社

東栄株式会社

東北支店

TEL (017) 762-3316

住設事業部 青森営業所

TEL (017) 762-3503

青森市第二問屋町3丁目3番42号



積水ハウスグループ

積和建設の在来木造住宅新築 積和建設の耐震リフォーム

戸建・マンション・店舗

一般木造・鉄骨造・コンクリート造・その他

積和建設東北株式会社 青森事業所

〒030-0131 青森市問屋町1丁目13-10 TEL 017-764-3622



営業用食器・厨房設備・器具専門商社

Kitchen and Table Communication

PRIMO Co., Ltd.

株式会社プリモ

青森店 青森洋食器

〒030-0113 青森市第二問屋町3丁目3-8

TEL.017-739-9355 FAX.017-739-9359

青森公立大学で講義実施

組合事務局及び組合員企業が、6月、7月に青森公立大学の「事業論Ⅱ(流通業)」講座の講師を担当した。

同講座では各業界や業種の具体的な事業内容を学び、その業種への理解を深め、さらにインターシッピングにつなげることで学生のキャリア形成を促している。今回、組合に対し公立大学から講義実施についての依頼があり、卸団地及び組合員企業の認知度向上、若者の地元定着や地元経済の担い手確保にもつながることから受託した。



青森公立大学で講義

や流通業の概要について紹介。5社のそれぞれ業界の異なる組合員企業は、自社の業務内容や業界の特色などについて解説し、学生は地域における流通業や問屋町の果たす

役割等に理解を深めていた。講義に参加した学生のレポートでは、問屋町の多岐にわたる共同事業に関心を持ち、組合員企業に対しても好意的な印象で、改めて興味を抱くなど、より身近に感じていたことが窺え、企業と学生の貴重な接点の場となった。

集団健康診断実施

問屋町会館2階大会議室で今年度1回目となる集団健康診断が開催された。6月8日(火)から10日(木)の3日間実施された健診は、組合員及び近隣企業から251名が受診した。



集団健康診断

健康診断の実施は労働安全衛生法上、事業主の義務である。また、診断後に異常所見があった場合には医師等からの意見聴取の実施など、その後の措置も求められる。組合では、今後も健康診断の実施をはじめ、健康に関する情報発信に努め、組合員の健康意識向上に寄与する。

団地企業訪問

今回の団地企業訪問は、(株)レンタルのニッケンの界王所長にお話を伺った。

同社は、昭和42年7月に栃木県足利市で建設機械のレンタル会社として設立。土木・建築・産業関連機械を中心に常にお客様の「困った」に心えられるよう今までにない商品を開発・制作・提供し、約4千7百種類、105万点の商品を取り揃え、全国に250を超える営業ネットワークがある。「当社で扱っている商品には、建設業で使用される高所作業車や林業では山から木を運搬する車両などがあります。また鉄道分野の機械では、鉄道の営業時間

が終了し始発までの間のみ工事が出来るので、お客様に納品する際には万が一に備えて機械を線路から脱出させる方法なども講習させて頂き、安全対策面でも安心してご利用してもらえよう努力をしています。ICT施工用機械にも力を入れていきます。



レンタルのニッケン 界王 章太郎 氏

最近では建築業界の若手後継者不足などが深刻になってきているので、予めデータを機械に取り込むことで自動で施工してくれるICT施工機械は、今後増えていくのではないかと考えています。組合員さんの中には当社をあまり存じない方もいらつしやると思いますが、レンタルに関すること

であればお気軽にお問合せ頂きたいです。事務所が使われる机や椅子、パソコン等のほかに個人的な引越越しなどで利用できるハイエースや軽トラックなどもレンタルできるので、是非利用してもらいたいです」とアピール。

今後の取り組みについて伺うと「オンラインでレンタルの申込ができるサービスを開始して、一度登録すると簡単にリピートオーダーが出来るようになります。今後全国展開していく予定です」と話す。

問屋町の第一印象について聞くと「団地内の企業全てを

把握しきれないと思うので、一度周ってみたいと思っています。他業種の方々と情報交換もしたいので、新型コロナウイルス感染症が収まったら交流会などにも参加したいです」と語る。

「座右の銘は「初心忘れるべからずです。いつでも初心に立ち返って、基本的に忠実に仕事も何をやってもいい」という気持ちで取り組んでいます」と笑った。(43歳)

「座右の銘は「初心忘れるべからずです。いつでも初心に立ち返って、基本的に忠実に仕事も何をやってもいい」という気持ちで取り組んでいます」と笑った。(43歳)

編集後記

組合が景観事業を開始したのが2005年。早いもので十七年になります。20数年前の組合員アンケートで「問屋町のイメージは、遠い・古い・汚い」という回答があり、衝撃を受けました。このイメージからの反転が景観事業の密かな目標でした。それが景観美化力向上に伴い「問屋町は綺麗になった」という感想が散見されるようになりました。フラワーボックスに水遣りする組合員さん、緑のボランティア隊の皆さん、会社の花壇を美しくしている組合員さん、皆様に心より感謝します。

「知性のワナ」の回避方法をご紹介します。著者のデビット・ロブソンは「インテリジェンス・トラップを回避するに重要な特性には、以下の五つがあり、これらが組み合わされば、知性を正常な軌道にとどめ、思考が崖から転落するのを防げる。」と指摘。①知的謙虚さ「自らの判断の限界を受け入れ、誤りを犯さないように対策を講じる」②積極的なオープンマインド思考「自らの意見に疑問を呈するような別の視点や証拠を探し求める」③知的好奇心「知識欲があり、興味や疑問を抱く。好奇心は動機づけられた推論や認知的バイアスを防ぐ効果もある」④優れた感情認識「感情のコントロールをうまく組み合わせると、認知的、感情的バイアスを防ぐのに役立つ」⑤しなやかなマインドセット「才能は伸ばしたり訓練できるものという考え方は、知的謙虚さのような属性を助長し、賢明な判断につながる」(藤本)

あなたの暮らしに近くて便利!

セブン-イレブン 青森問屋町1丁目店

〒030-0131 青森市問屋町1丁目9番22号
電話/FAX 017-728-7717

地域の一員であるみちのく銀行は、事業承継・M&Aを支援いたします。

新たな専門分野に取り組み蓄積されたノウハウ × 地域に根を張り長年継続して得た情報網 × お客さまと共に

家庭の銀行

みちのく銀行 問屋町支店 Tel.017-739-1100